

## 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームふきのとう東館 第2ユニット	評価実施年月日
		平成21年7月30日
評価実施構成員氏名	大内 良勝(管理者) 植村 美恵子(介護支援専門員) 岩田 一正(リーダー) 古谷 博美(リビングパートナー)	
記録者氏名	植村 美恵子	記録年月日
		平成21年8月17日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	東館独自の理念を掲げている		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	毎月行っているユニットミーティングにて行う勉強会等でも定期的に理念の基づいたケアを意識するよう、名刺の裏や掲示してある理念を見ながら取り組んでいる		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	運営推進委員会やご家族来訪時の近況報告時及び援助計画の説明時に理解をして頂くようにしている		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	以前にも立ち寄ってくれた散歩中の親子に声掛けし、再度遊んでもらったことがあった。常に挨拶などで親近感が持てるよう心掛けている。又ふきのとうで催す夏祭りの案内もしている		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	運営推進委員会を通し、地域の方々の馴染みの関係も出来てきており、町内で催すイベントの案内を頂いたり、小学校、中学校の催しやお祭りなどにも出かけている		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	町内が主催する認知症の理解を深める研修会などに協力をさせていただいた		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	ユニットミーティング等で評価結果の改善を話し合う事で自ら評価の意義を理解してきている		
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進委員会から出た意見を参考にケアの改善に努めたことがある(例:就寝時間のこと等)委員会の議事録は回覧されている		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	相談等も含め年々機会は増えている		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	ユニットミーティングで勉強会を行い、該当する方を事例にイメージした。今のところ必要性はないと思える		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	研修会参加、事例プリントの回覧、ユニットミーティングでの勉強会などの機会も多く、虐待防止の意識はかなり高まったと思われる		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明を行い、質問等を受けながら理解、納得を得られるよう心掛けている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の生活の中で利用者や家族の意見に耳を傾けたり、問いかけるよう心掛けしている		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月に一度のふきのとう通信や来訪時、特変時に個別に報告をしている。金銭管理は毎月、明細書、領収書の添付をし報告している。物品購入時は御家族の了解を得ている		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情相談窓口や口頭による苦情や相談を書類化し、回覧し、話し合い改善に努めている。電話対応の悪さの苦情があり、練習も行った		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営者や管理者が参加している毎月のユニットミーティングや、年に数回のユニット及び全体の懇親会で意見を出してもらえるような機会を設けているが、日常でも相談しやすいコミュニケーション作りは行えている		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	管理者、ケアマネージャー、事務員も含め、要望、外出や通院、特変時等対応している。又、他のユニット職員の協力も得られるよう調整を努めている		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	家庭の事情で辞めた代わりに新人職員が加わっただけで最近では職員も安定している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の段階的育成の為に研修会及び社外研修には積極的に参加する機会を確保しており、社内においても資料の回覧、ユニットミーティングでの研修報告や勉強会を実施し、スキルアップに努めている	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	小樽市のグループホーム協議会やそれぞれの研修会参加で勉強や情報交換は行われているが、前年度のような他事業所との交流は図れなかった	○ 今以上のサービスの質の向上の為、他事業所との交流の機会を設けたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	現在実施しているスポーツクラブ利用と年に数回の懇親会の場の他に要望や提案はなかった	
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	今年は昇給があった。計画担当作成者やアシスタントリーダーの役職を増やす事で向上心が持てるよう努めた	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面接時は見学に来てくださったので、職員一同でご本人様の話を聞きながら状態の把握が出来たと思う	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	面接時は奥様は体調不良でお嫁様からの話で状況を把握したが、その後、奥様の来訪や電話などで話を伺いながら、早く信頼関係を築けるよう努めた	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族にもアセスメントに協力を頂きながら、ご本人の会話の中から安心して生活していただけるような援助が行えるよう努めた		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に見学に来ていただき、職員含め、他の入居者の方々とお茶を飲みながらコミュニケーションをとっていただき、馴染める雰囲気作りに努めた		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	各利用者の生活歴や特技等を把握し、生活の中の会話の中で学べる事を受容しながら、喜怒哀楽を共にできる生活を送れるよう努めている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族にもイベントの案内をし、利用者と一緒に楽しい時間を共有できるよう努めている		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族とのより良い関係が継続していけるようふきのとう通信や来訪時、電話での近況報告を行っている。又、ご家族とのそれぞれの事情を配慮しながら支援している		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族の協力を頂きながら、自宅外泊、外出、来訪、電話や手紙等で馴染みの関係が途切れないよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	互いに支え合って生活が出来るよう何気ない声掛けでより良い環境作りに配慮している。又、臥床生活で部屋で孤独を感じる事の無いよう支援している		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	他の施設に移られた方の様子を伺ってきたり、生活を共にしたことを大切にされた関係に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	散歩、外出等、本人の希望や意向を把握し、状態に応じて対応している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェースシートやアセスメントを見直しながら、日々の会話や来訪時のご家族からの情報により、利用者の支援に役立てるようにしている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個々の一日のスケジュール表にとらわれず、日々の会話や来訪時のご家族からの情報により、利用者の支援に役立てるようにしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	毎月のユニットミーティングでのモニタリングやカンファレンス、ご家族やご本人の要望を反映しながら、又、生活を支援する職員によるアセスメントを基に作成している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月モニタリングとカンファレンスを行っているが状況の変化に合わせた計画の変更をご家族とも話し合いながら行っている		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎月のミーティングでのカンファレンス、申し送りノート、個人記録により情報を共有し、支援経過の作成にてモニタリング、カンファレンスの記載を基に計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望も含め、通院、買い物、美容室等、柔軟な対応で支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	個人的に意向や必要性は無かったがボランティアの方々による行事の関わり、地域の小・中学校、町内会との関係も定着してきている。又、警察にも挨拶に行ってきた		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	ふきのとうの居宅介護支援のケアマネージャーや福祉用具事業所から参考意見を聞いたり、ケアマネ連絡協議会の参加で情報交換を行っている		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	今のところ本人の意向や必要性は見られないが、運営推進委員会に参加していただき、総合的に相談にのって頂いている		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医や訪問診療で診察を受けながら、ふきのとうの看護師と各医療との連携をとりながら適切な医療を受けれるよう支援している</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>受診時には常に心身状態の変化を報告し、相談をしながら治療を受けている。主治医の意見書にも情報を提供しながら協力を頂いている</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>訪問診療等の看護師に状態報告をし、医師からの助言を頂きながら、ふきのとうの看護師と共に日常の健康管理や医療活用の支援を行っている</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院時は病院関係者への情報交換に努め、相談しながら早期退院が出来るよう支援している</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居の契約時にも看取りの意向書をいただいているが段階的にご家族からかかりつけ医や看護師と職員全員と話し合っていくつもりである</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>今のところ看取りの方はいなかったが、重度者に対してはかかりつけ医と常に連携を図りながら、利用者がより良く暮らせる為のチーム支援を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>別の施設に移られた方には十分な情報提供を行った</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>日々の支援の中でプライバシーを損ねるケアを見られた時はその都度改善するよう取り組んでいる。個人情報の保管場所も変更した</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>散歩や外出要望等に対応したり、利用者の話しや仕草から何を要望したいかを把握するよう心掛けている</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>行事への参加、部屋食、外出等、一人一人のペースを大切にしながら支援している</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>外出時の身だしなみ、普段の衣類のおしゃれも以前より支援するようになっていく。定期的に理容・美容室に出かけたり、訪問美容で整容している</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一緒におやつ作りをしたり、もやしの芽取り等のごしらえや食器拭き、米とぎなどを手伝ってもらいながら食事の楽しみを共有している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	喫煙を要望する方はいないが、晩酌や寝酒、外食時に皆と寿司を食べながらビールや日本酒を飲み楽しい時間を過ごしている。移動販売車でも好きな物を購入するよう支援している		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄パターンを把握しながら、時間や行動状態を見ながら対応している		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	ある程度決まった時間帯での入浴対応であるが、特に夜間やそれ以外の入浴希望がなかった。要望があれば時間の調整をしながら対応したいと思う		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	寝付けない方には好きな時間までテレビを見ていただいたり、夜勤者がリビングで話し相手になり対応している。また、認知の進行から昼夜覚醒している方には医師と相談し、心身が休む事が出来るよう薬を処方していただいた		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	その方の特技にあった事を役割としてお願いしている。また、イベント参加、外出散歩等で気晴らしや楽しみの支援をしている		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	その方の力に応じ、小銭を自己管理していただき、移動販売車などで買い物をしてもらっている。又、買い物や外出時は見守りの中、できるだけレジでお金を払ってもらっている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩や外出要望に出来る限り対応している。又、天気の良い日は日向ぼっこも心掛けている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	家族との外出、外泊には極力協力を頂いている。地域のイベント参加、祭り、水族館、紅葉見学など要望以外にも出かける機会を作り喜んでもらっている		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族からの手紙の返事を書いてもらったり、送ってきた荷物の礼の電話を掛けてもらうよう支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	快く訪問して頂けるよう、挨拶や接待に気を付けている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修参加の機会が多く持たれている。参加後は資料の回覧やユニットミーティング時の勉強会で皆の意識レベルも向上した。ご家族の理解も頂き、身体拘束は中止した		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	一般家庭と同じ夜8時～朝6時半頃までで夜間以外は施錠していない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜を通し、気配を感じながら見守りを行い安全に配慮している		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	転倒のリスクが多くなった方の安全を確保する為にご家族と相談しながら室内の整理を行った。一人一人の状態に合わせ、最小限の危険回避の対応を行っている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ヒヤリハットや事故報告を基に、その都度カンファレンスを行い、一人一人の状態に応じた事故防止策に取り組んでいる		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的にプリントの勉強会は行うようになった	○	新人職員の為にも救急救命法等の研修会に参加できる機会を設けたいと思う
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	緊急時の連絡網を作り直し、イメージトレーニングを行った。運営推進委員会などで地域の方々に協力をお願いした		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	自立支援を実施する為にも、一人一人の身体状態に合わせたカンファレンスを行っており、その都度ご家族にもリスクを理解していただいている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	一人一人の体調の変化は常に観察の基看護師、ケアマネージャー管理者共にかかり付け医と連携を図りながら早期対応に努めている	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	定期的にミーティングで服薬の重要性を再確認し、緊張感が薄れる事の無いよう努めている。又、薬のセッティング等、処方箋をみながら皆が関わる事で一人一人の疾患や薬を熟知するよう努めている	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	不穏、体調不良の原因が便秘によるものではないか等、常に排便確認は行っており、看護師や医療と連携をとりながら、又食べ物や運動を工夫しながら便秘予防に取り組んでいる	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人一人に合わせた方法で毎食後の口腔内の清潔は保たれている	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人一人の身体状態に合わせ、食事形態、栄養価、好みを配慮しながら栄養を摂取してもらえよう支援している	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	定期的研修会参加、事業所でのプリント回覧、ユニットミーティングでの勉強会で感染予防対策の意識を高めている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板、布巾は毎日消毒、手ふきはペーパータオルを使用、定期的に冷蔵庫の消毒、消費期限の確認は行っており、安全管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前のプランターやベンチふきのとうの玄関プレート、玄関ドアの開放で親近感を感じてもらえる様心掛けている		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感を感じさせる壁飾り、イベントや外出時に撮った写真、利用者が生けたり植えてくれる花々で生活感や季節感を取り入れている		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングのソファで横になったり、皆でテレビを見ながら話を楽しんだり、日中はリビングでくつろいでいる方が多い。好きな時に自室で休んでもらっている		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時の説明で出来るだけ馴染みの物を用意してもらうように声掛けている。仏壇、物干し、テレビ、タンス等で希望する品を揃えて頂いている		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	日中はリビングに居る事が多いので状態を見ながら換気や加湿器等で湿度調整は頻繁に行っている。又、排泄物の異臭には消臭スプレーや消臭剤を部屋においてある		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	手すりのついたフラットな廊下を利用し毎日、下肢筋力のリハビリ(ウォーキング)が行えたり、自立歩行が安全に行われている	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	一人一人の出来る事を見極めその時の状態による自立支援が出来るよう心掛けている。(例えばその時の状態で食事の介助を行ったり、自分で食べてもらったりしている)	
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	玄関外のプランターに植えた花の水やりや食後の日向ぼっこ、夕涼みにベンチで休んだり花火の観覧で楽しめるよう活用している	



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>ほぼ全ての利用者</b></li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>毎日ある</b></li> <li>② 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>ほぼ全ての利用者</b></li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ <b>利用者の1/3くらい</b></li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <b>利用者の2/3くらい</b></li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <b>利用者の2/3くらい</b></li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② <b>利用者の2/3くらい</b></li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>ほぼ全ての家族</b></li> <li>② 家族の2/3くらい</li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>① ほぼ毎日のように  <b>② 数日に1回程度</b>            ③ たまに            ④ ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>① 大いに増えている  <b>② 少しずつ増えている</b>            ③ あまり増えていない            ④ 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>① ほぼ全ての職員が  <b>② 職員の2/3くらいが</b>            ③ 職員の1/3くらいが            ④ ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>① ほぼ全ての利用者が  <b>② 利用者の2/3くらいが</b>            ③ 利用者の1/3くらいが            ④ ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><b>① ほぼ全ての家族等が</b>            ② 家族等の2/3くらいが            ③ 家族等の1/3くらいが            ④ ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

- ・寄り添ったケアの頻度は多いと思われる
- ・職員も利用者も笑いある楽しい生活を心掛けている
- ・互いに助け合える共同生活を意識できるよう声掛けをしている